



<グループホーム>川崎大師バナナ園

入居者の皆さんと「しながわ水族館」へ遠足

9月15日<敬老の日>実施

川崎市川崎区のグループホーム「川崎大師バナナ園」ではスタッフの発案により、9月15日<敬老の日>に入居者の皆さん7名と施設スタッフ6人による品川区の「しながわ水族館」への遠足を実施しました。当日、入居者の皆さんは久々の遠出とあって朝から入念にお化粧される方もいるほどゾワゾワ・ワクワク。一行は車2台に分乗、朝10時30分に「川崎大師バナナ園」を出発、11時には品川区勝島「しながわ区民公園」内の「しながわ水族館」に到着、片道30分のドライブですが、皆さんにとってはこれもしっかり楽しまれたご様子。午前中は水族館自慢の「イルカショー」を見物。ダイナミックなイルカのパフォーマンスに全員が拍手喝采、大喜びされる皆さんの姿がとても印象的でした。そしてランチは水族館内の「レストラン」で、名物の「品川丼」や「ハンバーグステーキ」に舌づつみを打ちました、小食な入居者の方も全員完食! 午後は全員で「トビ水槽」「海の宝石箱」等、様々な水槽を見学。魚たちの右へ左への大移動や人気者のハリセンポンのユルユルな動き、珍しい魚たちの水の中を自由に泳ぐ魚たちの姿を見て、スタッフを含め全員が少年・少女時代に戻ったように大はしゃぎでした。当日は敬老の日ということもあり、65歳以上の方は無料、また水族館内はバリアフリーで、身体にハンディキャップのある方にも優しい施設、お陰様で入居者の皆さん、そして引率する施設職員も楽しく見学できました。管理者の藤原は「施設内での定期的なイベントは頻繁に実施していますが、安全面やスタッフの確保等の諸事情を考えると、大人数での外出には慎重にならざるを得ませんでした、今回若手スタッフの発案この企画を実施しましたが、とにかく安全に一日を終えることが出来て一安心。入居者同士、スタッフとの絆が再確認出来ました。また施設内で見るとは違う皆さんの笑顔を見ることが出来、更に入居者のご家族様にも感謝の言葉をいただきました。この企画の成功でスタッフも自信をつけたと思います。早秋の大収穫の一日になりました。」と語ってくれた。



水槽を泳ぐ魚たち見て「まるで竜宮城にいるみたい!」



イルカのダイナミックなジャンプに拍手喝采



広がる日本庭園を眺めながらのお食事は格別、この日はなんと全員が完食!!

9月20日第13回バナナ園ほりうち家運営推進会議
高橋先生を迎えての音楽療法実施

9月20日<土>、川崎市中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」にて恒例の「地域交流会」<第13回>が開催されました。今回は入居者の皆さんにも積極的に参加いただける「音楽療法」を実施。講師としてお迎えしたのは、先月、このBANANA NEWSの紙面にも登場して頂いた、日本音楽療法学会の音楽療法士補の高橋佐智代さん。高橋さんのスムーズな話術やうながしで普段はおとなしい高齢者のみなさんも楽器や道具を使用し、大盛り上がり。ゲストとしてお見えになった地元や中原区役所高齢者支援課の皆さんも元気な入居者の皆さんの姿を見てびっくり! 管理者の木村は「入居者の皆様の明るく元気な姿を見てご家族や皆さんも安心して頂けたと思います、本当に音楽の持つ力は不思議。普段のお世話やケアの中にもどんどん音楽を取り入れて生きたい」と語ってくれた。



Dr.鈴木の 訪問診療日記②

～認知症と排尿障害～失禁のおはなし

最近よくテレビを見ていますと、“頻尿”の宣伝が多くみられるようになってきましたね。“シシオドシ”の宣伝は一回はご覧になったことがあるのではないのでしょうか。「一日8回以上おしっこに行く場合は頻尿…ですか?」とよく聞かれます。おしっこに関わるトラブルは、ご高齢の方に多くみられており、様々な疾病で見られますが、認知症や脳卒中の後遺症など脳の障害でもしばしば問題になります。

“おもらし”は、尿失禁といい、尿路特に膀胱から尿道に至る下部尿路に、形態に問題があるとか、排尿に関わる神経のコントロールが不良な場合、心理/精神的な問題がある場合など様々で、これらの要因が複雑に絡んでいる場合が多いようです。特に認知症の方に多いのは、切迫性尿失禁(急に尿意が出現し我慢できずに漏らしてしまう)と機能的尿失禁(トイレに到達するまでに時間がかかり我慢できずに漏らす)が多いようです。いずれも泌尿器科等での診断と治療がまず大切で、特に、“残尿(尿を一回排泄した後に膀胱内に残っている尿)”量が多い場合には、原因をよく調べないと、尿路感染を起こしやすくなり、腎臓にまで炎症が達すると、場合によっては腎盂炎から敗血症といった重篤な事態に陥りやすく、亡くなってしまう例も出てきます。

認知症ならではの排尿トラブルとしては、トイレの場所がわからず間に合わない、トイレと別の場所に排泄、排尿はトイレですという観念がなくなる(ゴミ箱や植木鉢といった例が多いようです)という例ばかりではなく“介護者の関心をひこう”として、わざと失禁したり、大声で尿意を訴えてみたりと多彩です。まさに日頃の観察が大切ということになりますね。

日常の排泄のケアで大切なことは、特に“おもらし”を怒らないこと。プライドを傷つけてしまい、人間関係が崩れてしまうことが多くなるようです。優しく後始末をしてあげてください。また、トイレまでの距離が遠い場合は、身近にポータブルトイレを設置したり、トイレの場所を本人にわかりやすく印をつけたり、定時的にトイレに誘導するとか、場所を間違う場合には、いつも排泄する場所にポータブルトイレやしびんを置くことも役立つかと思えます。今回は、認知症と肺炎についてお話ししてみたいと思います。



鈴木先生は当社の運営するグループホーム「川崎大師バナナ園」で訪問診療を担当、入居者の健康を管理する頼もしい司令塔。お問い合わせは「ひろクリニック」03-5753-5695。
←川崎大師バナナ園



11月12日開始：全5回 福祉振興会主催 認知症予防地域連携指導者研修 受講生募集中！

健康なうちから「認知症予防」の取組が重要になってきました。認知症を理解し、講義と実習を通じて「認知症の予防の方法」を学び、自らも健康で、地域で認知症の予防・支援に取り組む意欲のある指導者の育成を目的とします。

■研修内容：＜講義/演習＞「認知症の理解」「認知症予防のプログラムとマニュアル」「DVDによる認知症疑似体験」「認知症予防と日常生活習慣へのアプローチ」

＜実習＞「認知症予防の実習」「認知症高齢者施設での体験実習」

■講義・演習：11月12日、19日、27日/計3回

■実習：12月5日/12月11～17日/計2回

■研修会場：北沢タウンホール

世田谷区北沢2-8-18 下北沢駅から徒歩4分

■研修対象：一般の方、認知症予防に関心のある方、認知症の介護をしている方等。認知症の予防支援に取り組む意欲のある方歓迎！

■募集定員：30名(先着順受付)

■テキスト代：2,000円

■応募方法：下記までお電話にて。

■主催：NPO法人 福祉振興会

※研修担当(小関・福本)

★お問合せ時間：

月～土/9時～16時：

★フリーダイヤル：0120-14-4137

★FAX：044-433-4712



蕎麦打ちが地域をつなぐ！

“さいわい蕎麦塾”開催！ 当法人理事長矢野邦一が講師として登場

シニア世代の方を対象に、地域参加のはじめの一歩として、幸市民館で蕎麦打ちを習いませんか？蕎麦打ちをしながら同世代の仲間と出会い、身につけた技を活かして子供たちの指導や地域イベントの参加など、楽しみながら充実したセカンドライフを探しましょう！

開催日：①10月12日(日)②10月26日(日)③11月16日(日)④11月30日(日)⑤12月7日(日)⑥最終日未定(蕎麦打ちイベント企画)

時間：9:30～14:30＜全6回＞ 会場：幸市民館

対象：川崎市内在住・在勤の概ね50歳以上の方 20人

受講料：無料＜但し、そば粉など材料費1人1,500円実費負担＞

持ち物：エプロン・三角巾＜バンダナ可＞・筆記用具

内容：午前 蕎麦打ち(実習)

昼食 制作した蕎麦を食べます

午後 講義・ワークショップ・話合い

お申し込み・お問い合わせ：幸市民館

TEL 044-541-3910

なるべく全回に出席できる方を

優先させていただきます。

午前のみ・午後のみ参加はできません。

主催：川崎市教育委員会



グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記
の各施設もしくは総合案内

044-433-4651 迄



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行) 通算第46号

編集:あい、介護ネットワークズ

川崎市中原区上丸子八幡町816 ☎044-433-4651

<HP> <http://www.bananaen.com/>

バナナ園グループ

●グループホーム「川崎大師バナナ園」☎044-280-2386

●グループホーム「バナナ園」☎044-588-0645

●グループホーム「第二バナナ園」☎044-587-1773

●高齢者ケア付住宅「IDSバナナ園」☎044-580-3210

●グループホーム「バナナ園ほりうち家」☎044-722-5361

●グループホーム「のんびりす」☎044-797-3314

●グループホーム「バナナ園生田ヒルズ」☎044-911-1599

●デイサービスバナナ園☎044-588-0890

●あいケアサービス☎044-433-4651

●すこやかケアプランセンター☎044-411-3120